

# SG3000 SG+ アラームコード

アラームコードと内容	アラームタイプと原因	対応
<b>101</b> WATER TEMPERATURE HIGH <b>高水温</b>	<b>遅延再始動アラーム</b> —水温が107℃以上25秒間エンジン運転。 ・エンジン停止し再始動を試みる。	1. エンジン オーバーヒートの原因チェック。 ・エンジン冷却水レベル点検。 ・ウオーター ポンプ ベルト点検。 ・ラジエーターの空気流入と冷却水の流れ点検 2. 水温センサー点検。
<b>102</b> FAILED TO CRANK <b>クランクしない</b>	<b>遅延再始動アラーム</b> —エンジンがクランクしない。 Configuration Menu(設定メニュー)で“Crank Restart”(再始動)の回数以上始動を試みた場合、 <b>停止アラーム</b> 。	1. バッテリー、バッテリー ケーブルとスターターの点検。 2. 8S回路点検。 3. スターター リレー点検。 4. エンジン又は発電機不具合点検。
<b>103</b> FAILED TO START <b>始動しない</b>	<b>遅延再始動アラーム</b> —エンジンがクランクしない。 Configuration Menu(設定メニュー)で“Crank Restart”(再始動)の回数以上始動を試みた場合、 <b>停止アラーム</b> 。	1. 燃料点検。 2. フューエル ソレノイド、フューエル ポンプと燃料系統の電気と部品の点検。 3. 低外気温度の時、燃料氷結点検。 4. エアークリーナー又はインテークシステムの詰まり点検。 5. インテークエアークリーナーの点検。
<b>104</b> RL2 (FUEL H) FEEDBACK FAILURE RL2(燃料保持)フィードバック不具合。	<b>停止アラーム</b> —リレーが励磁した時フィードバックしない又はリレーが励磁しない時フィードバックした時。	1. RL2(燃料保持)リレー点検。 2. 8D回路点検。
<b>105</b> RL1 (FUEL P) FEEDBACK FAILURE RL1(燃料吸引)フィードバック不具合。	<b>停止アラーム</b> —リレーが励磁した時フィードバックしない又はリレーが励磁しない時フィードバックした時。	1. RL1(燃料吸引)リレー点検。 2. 8DP回路点検。
<b>106</b> RL5 (STATER) FEEDBACK FAILURE RL5(スターター)フィードバック不具合。	<b>停止アラーム</b> —リレーが励磁した時フィードバックしない又はリレーが励磁しない時フィードバックした時。	1. RL5(スターター)リレー点検。 2. SR、PSRとFSR回路点検。
<b>107</b> STSTEM OVERLOADED <b>システム過負荷。</b>	<b>遅延再始動アラーム</b>	1. 負荷を外し、再始動。 2. 発電機フィールド回路点検。 3. 発電機出力回路点検。
<b>108</b> ENGINE NOT RUNNING REASON UNKNOWN <b>エンジン表記以外で始動せず。</b>	<b>遅延再始動アラーム</b> —油圧スイッチから低油圧(接地)とエンジン運転でRPMが0インプット。 ・エンジンは20分以内に再始動。	1. 燃料点検。 2. フューエル ソレノイド、フューエル ポンプとフューエル システムの電気と部品の点検。 3. 低外気温度の時、燃料氷結点検。 4. エンジン又は発電機不具合点検。
<b>109</b> LOW OIL LEVEL <b>油面低下。</b>	油面低下と油圧低下が同時に発生した時。	1. オイルレベル点検。 2. オイルレベルスイッチ点検。 3. オイルレベルスイッチまでの回路点検。 4. データーメニューのサブメニューのアナログインプットで油圧点検。 5. 油圧スイッチ点検。 6. OPS回路点検。

## メッセージリスト

メッセージコードと内容	原因	対応
<b>101</b> BAT VOLTAGE LOW バッテリー低電圧	バッテリー電圧9ボルト以下。	1. バッテリー点検。 2. バッテリー ケーブル点検。
<b>102</b> DIGITAL INPUT FAILURE デジタル インプット不具合	最新の10秒間に1秒に1回のデジタル インプットの変化。	これはラインのノイズ、接続の緩み又はセンサー不良の状態です。
<b>103</b> OUTPUT VOLTAGE < 180 V 出力電圧180V以下	エンジン運転しエキサイター フィールドが励磁されず出力電圧が30秒間360V以下。	発電機の低出力点検。
<b>104</b> AIR FILTER BLOCKED エア フィルターの詰まり		
<b>105</b> COOLANT LEVEL LOW 冷却水低レベル	30秒間冷却水レベル センサーが冷却水低レベル表示。	1. 冷却水レベル点検。 2. 冷却水レベル センサー点検。 3. 冷却水レベル センサー回路点検。
<b>106</b> OUTPUT FREQUENCY LOW 出力低サイクル	出力サイクルが30秒間45 Hz以下(エンジン回転数1,350以下)	エンジン回転数点検、調整。
<b>107</b> OUTPUT FREQUENCY HIGH 出力高サイクル	出力サイクルが30秒間70 Hz以上(エンジン回転数2,100以上)	エンジン回転数点検、調整。
<b>108</b> LOW OIL LEVEL ロー オイルレベル	3分間ロー オイル レベル スイッチがロー オイル レベル表示。	1. オイルレベル点検。 2. オイルレベル スイッチ点検。 3. オイルレベル スイッチ回路点検。
<b>109</b> HOUR METER 1 HAS WXCEEDED THRESHOLD アワー メーター1設定を超えた。	アワー メーター1 (HM 1) 設定メニュー (Configuration Menu) の設定を超えた。	確認しタイマー リセット。
<b>109</b> HOUR METER 2 HAS WXCEEDED THRESHOLD アワー メーター2設定を超えた。	アワー メーター1 (HM 2) 設定メニュー (Configuration Menu) の設定を超えた。	確認しタイマー リセット。
<b>111</b> FUEL LEVEL LOW ロー フューエルレベル	フューエル レベルが設定メニュー (Configuration Menu) の“Fuel Level”セットより下。	1. フューエル レベル点検。 2. フューエル レベル センサー点検。 3. フューエル レベル センサーまでの回路点検
<b>112</b> ENGINE RPM SENSOR FAIUER エンジン回転数センサー不具合	エンジン運転、LOPスイッチからのインプットが高い(接地)が回転数は800以下。	1. RPMセンサー点検。 2. RPMセンサーまでの回路点検。
<b>113</b> WATER TEMPERATURE SENSOR FAILUER 水温センサー不具合	水温センサーの読みが-40°C以下又は130°C以上	1. センサー回路と配線接続点検。 2. RPMセンサーまでの回路点検。
<b>114</b> LOW OIL PRESSURE 低油圧	エンジン運転、LOPスイッチからのインプットが60秒間低い(接地)。	1. オイルレベル点検。 2. データー メニューのサブ メニューのアナログインプットで油圧点検。 3. LPOスイッチ点検。 4. OPS回路点検。
<b>115</b> RL6 (AIRHEAT) FEEDBACK FAILURE RL6(エアヒート)フィード バック不具合	リレーが励磁した時フィード バックしない又はリレーが励磁しない時フィード バックした時。	1. RL6(プレ ヒート)リレー点検。 2. PHR、PPHRとFPHR回路点検。
<b>116</b> COUNT DOWN TIMER HAS EXPIRED カウント ダウン タイマー 終了	カウンターが顧客設定時間を越えた時。	1. メッセージを確認し、タイマー設定。
<b>117</b> OIL PRESSURE HIGH WHILE ENG IS NOT RUNNING エンジン停止中油圧が高い	PTI中、エンジン停止中ロー オイル プレッシャー スイッチが高い(アースせず)、インプット。	1. ロー オイル プレッシャー スイッチ点検。 2. OPS回路点検。

## メッセージリスト

メッセージコードと内容	原因	対応
<b>118</b> OIL PRESSURE SWITCH FAILURE オイル プレッシャー スイッチ 不具合	エンジン始動前ロー オイル プレッシャー スイッチからのインプットが高い(アースせず)。	1. ロー オイル プレッシャー スイッチ点検。 2. OPS回路点検。
<b>119</b> WATER TEMPERATURE HIGH 水温が高い	水温107℃以上で5秒間の時、再始動。	1. 水温センサー点検。 2. WTP/WTN回路点検。
<b>120</b> ENGINE FAILED TO CRANK エンジン クランクせず	エンジン クランクせず。	1. バッテリー、バッテリー ケーブルとスターター点検。 2. 8S回路点検。 3. スターター リレー点検。 4. エンジン又は発電機不具合点検。
<b>121</b> ENGINE FAILED TO START エンジン始動せず	油圧無しと800回転に達せずー再始動。	1. 燃料点検。 2. フューエル ソレノイド、フューエル ポンプと燃料系統の電気と部品点検。 3. 外気が低い時、燃料の氷結点検。 4. エアークリナー又はインテーク系統の詰まり点検。 5. インテーク エアークヒーター点検。
<b>122</b> SYSTEM OVERLOADED システム過負荷	出力が短絡の時ー再始動。	1. プラグを外し再始動をする。 2. 発電機のフィールド回路点検。 3. 発電機の出力回路点検。
<b>123</b> ENGINE NOT RUNNING RERASON UNKNOWN 原因不明で始動せず。	運転中油圧が低く、回転数が上がらない時ー再始動。	4. 燃料点検。 5. フューエル ソレノイド、フューエル ポンプと燃料系統の電気と部品点検。 6. 外気が低い時、燃料の氷結点検。 4. エンジン又は発電機不具合点検。
<b>124</b> NO LOAD RPM LESS THAN 1530 無負荷で回転数1530以下	始動ご回転数が1530以下	1. エンジン回転数点検。 2. RPMセンサー点検。
<b>125</b> SPEED SOLENOID FEEDBACK FAILURE スピード ソレノイド フィードバック不具合	リレーが励磁した時フィードバックしない又はリレーが励磁しない時フィードバックした時。	1. RL3(スピード[スロットル]ソレノイド)リレー点 2. 7D回路点検。
<b>126</b> FUEL LEVEL SENSOR OUT OF RANGE フューエル レベル センサーが範囲から外れ	燃料のレベルの読みがタンク最大容量より上。	1. フューエル レベル センサー点検。 2. FPOS、FENGとFOUT回路点検。 3. サブメニューで設定した燃料タンク容量点
<b>127</b> FUEL LEVEL DECREASED TO FAST 燃料の減りが早過ぎ	燃料の読みが通常より減りが早い。 注:このメッセージの消去はパスワード(0007)。	1. 燃料タンクの漏れ点検。 2. 燃料タンクからの燃料の抜き取り点検。